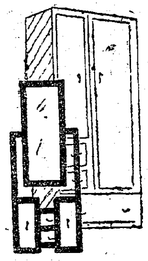
三和新報
THE SANWASHIMPO

第657號 日刊 昭和29年6月17日第三種郵便認可 日曜・祝・祭日を除く 購読料1カ月80円

6月27日(水曜日)

発行所 三和新報社 平市田町 電話1053



1956年最新型 洋服タンス 豊富陳列 婚礼家具一式

家具のデパート あるが

本店平市銀座街 支店平市4丁目 電223

まつ昼間堂々学校荒し
平 孤独の少年十余万盗む

白昼堂々と学校にもぐりこみ生徒の金や服を盗んでいた少年が平署につかまつた。この少年は平市大館S(一七)で現在わかつているものだけでもさる四月十七日午後九時半ごろ平市松ケ岡公園観覧車附近にいた常磐市傾城映写技手平子清さん(三九)のボストンバツク、ズボン、サイフ、日用品など四千四百円。六月二十日午前十一時ごろ磐高教室から生徒のズボン、ワイシヤツ現金六百円などを盗んだほか平工、平商、映画館なども荒しまわり二十数件。約十万円にのぼる盗みをしていた。

Sは三才の時両親を失い。その後伯母の世話になつて中学を卒業したが生活が苦しいのと家庭環境からだんだん悪の泥沼に足を踏み入れて伯母の家を飛出し間借りの一人暮しをしながら学校附近をぶらついては体操のため留守になつている教室を狙つて現金や服、ズボンを盗んでいたがアシのつくのを恐れて盗品をいつたん橋の下や草むらにかくし夜になつてから運ぶという大人顔まけの荒稼ぎをしていた

磐城て成人学級

磐城市小名浜公民館第三回成人学級(初級複式簿記科)は七月五日から十一日まで毎夜六時から同公民館ホールで開く。講師税理経理士渡辺清一匡氏。受講料無料。

生産目標十九万石
31年度の割当決る

三十一年産米の石城地区各市町村別の割当(要請)が決つた。県米穀売渡推進協議会石城支部(支部長諸橋平市長)の委員会は二十七日石城財務事務所会議室で開き、生産目標(玄米)十九万八千五百石に対し、売渡要請量(供出割当数量)六万七千八百石で農協取扱い六万一千三百七十石、農肥連取扱い六千四百三十六石と決つた。各市町村別の要請数量(カツコ内は生産目標、単位石)。

▽平市＝一八、八七九(五一、八六一)▽磐城市＝一四、五七二(三三、四〇九)▽勿来市＝一二、六〇〇(三六、〇二四)▽常磐市＝四、六九〇(一一、三三七)▽内郷市＝八二五(五、一〇三)▽遠野町＝二、六九〇(一一、二六一)▽田人村＝九五(二、七五七)▽好間村＝一、四九〇(五、五八八)▽三和村＝一、一五七(七、九九九)▽四倉町＝八、〇五〇(二一、四九六)▽小川町＝二、六二二(九、一一九)▽川前村＝一三〇(三、五五二)

常磐製作・内郷勝つ
天皇杯野球第一試合

天皇杯争奪野球大会石城地区予選第一試合は二十六日午後三時から内郷市金坂グランドで行われたが戦績次の通り

▽常磐炭鉱製作所8－1平地裁

▽内郷市役所6－3平駅

減つた常磐の人口

常磐市の人口は三十一年一月に四万四千三人だつたのが五月三十一日現在で四万二千七百八人となり二百九十四人減となつた。世帯数は八千五百六十八から八千五百四十にへつておりこれは炭鉱に出稼ぎにきていた季節夫が帰郷したためで人口の変動が大きいのが同市の特殊性になつている。

いわき七浜宣伝の旅へ
観光キャラバンけさ出発

石城観光協会のいわき七浜観光キヤラバン隊はけさ平駅前に平市役所の宣伝カー、バス、常磐交通、みよし、松月堂などの車が集り諸橋市長の挨拶のあと得意のじやんがら念仏や四倉、磐城の綺麗ところによる大漁節を披露鳴物も賑やかに県南、栃木、県北方面の宣伝に旅立つていつた。一行は三十日帰る予定。

磐城、珠算検定合格者

第廿七回珠算検定は商工会議所主催でこのほど行つた結果 受験者六六〇名中、三四三名、五割二分の合格率をしめし、万点合格者六名もあつた。合格者名次の通り。

◆二級 笹英夫、作山和子、大井良正、藤堂富美子、坂本智代

◆三級 武内美恵子、馬目シメ子、影山岩子、高荻栄一、馬上武昇、小宮弘隆、小野利雄、立花和夫、相川幸一、大和田修雄、馬上浩、大平登、馬上豊次、長瀬勝利、馬上和子、上野台和子、佐藤芳江、平キヨ子、鈴木よし江 鈴木福子 阿部賢子、菊地千恵子、鈴木カツ子、馬上芳子、青山珠恵、坂本トク子、山口利江、渡辺龍子、鈴木好子、山崎京子、北尾真木子、鈴木こず江 吉原浩 中西博、大島正志 近藤ユリ子、箱崎みの子、木下佳子、岡部文子

◆万点合格者 長瀬勝利(四級)三浦和子(五級)国分靖子(五級)鈴木恵美子(六級)馬上節子(六級)佐川キク江(六級)

平署のとんち教室
寿食堂、河田さんら入選

平署では公報紙〃くろしお〃の発刊二周年を記念して、く、ろ、しおの四字をおりこんだ都々逸を一般から募集していたが二十七日つぎの二点を入選作ときめ近く賞品と賞状を贈ることになつた。

①黒よ白との論より証拠指紋台帳大急ぎ 作者＝平市新川町寿食堂

②苦労するなら櫓かいを漕いで潮の花散る大海で 作者＝平鉄道公安室河田公

これでよいのか

学校や映画館を荒し廻つていた十七才の少年が捕まつた。彼はまだ西も東もわからない三つのとき両親に死なれ孤独の生活を送つていたという。この間、平のある映画館で上映された〃不良少年〃は感化院に収容されている少年の生々しい生態を描いて大きな反響を呼んだが、少年時代にいつたんひねくれてしまうと手のつけられない不良ぶりを発揮する。人の善意なんていうものは彼にとつては一文の値打もない笑話のタネである。真面目なお説教をすればするほど反抗してくる。彼らはこの世の中で何にを信じてよいかわからない。両親をなくし食うや食わずの生活をしていても誰も面倒をみてくれない。結局いくところは他人の物を盗む以外に道がない。そして感化院に入る〃真面目になつて社会に出ても誰が俺におまんまを食わせてくれるんだい〃と絶叫する。盗み―感化院をくり返し、ますます心が荒れてくる。こんど捕まつた少年はよく高校生の服を盗んだ。彼の心の中には同じ年代で両親の愛に守られながら学校に通う者に対する激しい嫉妬心があつたのかも知れない。昔から人間は生れながらにして悪を背負つてきたものはないといわれている。周囲の環境が人間の運命を左右し一生薄暗い牢獄で世間を呪いながら死んで行くのを本人の精神が悪いからだと簡単にかたずけてよいだろうか。憲法には自由平等、最低の生活保証をうたつているが残念ながら現在の状況は全くの空念仏である。不幸な少年を暖かく迎える保護施設は貧弱の限りだ。選挙のたびに候補者は社会保償費の増額を叫ぶが、いざ当選するとそつぽを向いてしまう人が多い。そして汚職が大手を振つてまかり通る。こんな社会状勢の中にこの少年を悪いと決めつけられる人が何人あるだろうか。皆んなでよく考えなければならない問題だろう。

紅白の花が咲く大毛ダケ
卅メートル通りに三千本植える

平市では三十メートル通りグリンベルトに蘭の間に大毛ダケ三千本を植えることになり二十七日植付けを行つた。この花は平市鎌田の郷土植物研究家である佐川定次郎さんが持つてきた種を県園芸原種農場が栽培したものである。大毛ダケは丈三尺くらいで、九月から十月にかけて紅白混りの花が咲き、九月ころは緑の蘭の中に可れんな花を咲かせて通行人の目を楽しませることになる。

監督に金古、投手上坂
平市議メンバーきまる

石城五市と原の町、相馬の浜通り七市々会議員親善野球大会は七月二十一、二の両日、平工グランドで熱戦を展開するが平市議チームのメンバーは次のようにきまつた

▽監督金古政通▽主将水竹伊之助▽選手上坂昇、金子松男、青島貞久、佐藤友寿 町田亀寿、志賀伝吉、坂本昌蔵、小野栄一、石山一治、会川伊重 松本茂雄(事務局)なおバツテリーは上坂―松本のコンビである。

なおメンバーは次の通り 増子健一、松本正盛、鈴木栄、吉村孔延、中村康三、伊藤次郎、国井勇夫、新妻彦美、川島武美、砂押義政、薬谷孝一、菅本嘉一

活発な椎たけ栽培
権威者招いて講習会

内郷市では二十六日から三十日まで島根県太田市農業協同組合専務理事恒松梢氏を招き椎たけ栽培現地指導を行う。去る三月から四月までの間に種駒を植えこんだ八十五戸のふせこみ後の監理について実地指導を行うもので、椎たけ栽培は産林資源の活用という点でも大きな関心をよびおこしており現在八十五戸のうち百本以上植えこんでいるところが九〇パーセントにのぼつておりほとんど百パーセント活着しているという。なお同市では桐の植樹を奨励しておりこのほど市内各所に種根二千本、一年生苗三千二百本を植樹した。

音楽指導協議

内郷市内小中学校音楽教育協議会は二十九日午後一時から内町小にひらき音楽指導について協議する

部長に吉田課長
内郷市役所野球部

内郷市役所では二十五日野球部を結成次の通り役員を選任した。

▽部長吉田喜一(総務課長)▽マネージヤー吉田隆治(庶務係長)▽監督森下繁雄(福祉事務所庶務係長)▽主将柿沼浩昭(同援護係長)

人の往来

▽平市荒井農務課長は農事組合長会議出席のため三十日高久へ。

▽平職安吉成次長は事務打合せのため二十六日勿来市呉羽化学錦工場へ。

▽平労基署高橋第一課長は事業場監督のため二十六日四倉町へ。

▼平農地事務所笠原事務官は事業指導のため磐城市泉 同金沢技師は富農指導のため二十六日それぞれ出張。

▽同助川技師は会計検査のため二十七日田人村へ。

▽石城福祉事務所母子相談員鈴木ハツ子さんは母子福祉の現任訓練のため二十六日東京へ、二十八日帰庁。

▽平林務駐在員室石井、零石両技師は林業指導のため二十六日磐城市江名、小名浜、平市高久に出張

▽同増井主任は主任会議出席のため二十七日出県。

▽常磐市役所商工課長長久保実氏は常磐地区観光連絡協議会の夏の観光宣伝キヤラバン実施のため二十七日から三十日まで三泊四日で郡山、福島方面に出張する。

▽常磐市役所土木課与田修氏は広域都市計画調査要綱書提出のため二十六日出県二十七日帰庁。

▽常磐市役所生田目水道係主任は水道問題について打合のため二十五日出県二十八日帰庁する。

▽常磐署金子刑事は刑事講習会に出席のため二カ月間にわたり県本部捜索課に出張中だつたが廿七日帰署した。

▽常磐市長矢吹荘司氏は学校建築補助申請のため文部省に出張中だつたが二十七日帰庁した。

▽県総務部長堀部清氏は選挙事務視察のため二十七日常磐市へ。

▽常磐市役所収入役室佐々木武貞書記は土木事業用トロ購入のため二十六日茨城鉱業所へ出張二十七日帰庁した。

▽常磐市役所税務課徴収主任石川昭一氏は市民税徴収および滞納処分の特例打合会に出席のため二十七日石城財務事務所へ。

天気予報

【今晩】南の風曇り。

【明日】北の風曇ときどき晴。海上はおだやかでしよう。

訂正

二十六日付一面広告中丸万家具店と掲載致しましたが丸島の誤植でしたのでここに訂正致します。

河原田特急クイズ(第一回)

毎〇御〇立にあずかり有〇うございます。本〇二十四日よりサービス〇点の〇原〇特〇定期便を〇めました。是〇〇願いいたします。運賃は従〇通りで御〇います。次の集荷〇に御〇絡下されば無〇集荷に〇ります。東京の受〇時〇は午後四〇迄で、平到〇は翌〇〇前六〇です。〇京＝〇〇直行便トラツクは新〇で荷〇は安〇確実迅速に〇送されて自〇大〇評です。市〇の荷物おいそぎの〇物は是〇河原〇特〇定期便とおきめ下さい。

解答規定

▼賞金は一回五百円一名、但し正解なきときは次回に加算する▼解答用紙はハガキ「問題第〇回」と書き、住所氏名明記、文字はすべて階書でハツキリ書くこと 不明な文字あるときは正解としません▼当てはめる文字はすべて当用漢字を使つたものに限ります▼正解者多数の場合は抽せんで一人に賞金を贈る 但し正解者全部に記念品を贈呈▼締切七月一日 発表七月三日本紙上に掲載▼送り先 平市公会堂前河原田(茨城県貨物)平出張所宛

関根運送	神田市場北口	電(25)6356
丸川運送	築地小田原町15	電(54)3665～6
茨城運送	八丁堀、道島ビル	電(55)4421～2
いばらきや	日本橋馬喰町	電(66)4868
河原田上野出張所	台東区車坂55	電(83)6795 9040

平市公会堂前

河原田(茨城県貨物)平出張所

電話(平)1805

時計なら

高速度時計修理器設備

スイス堂

平市五丁目電1861

美容実演会

★六月廿八日 廿九日(二日間) 午前九時から

★講師 ハリウツドスター化粧品 筒井愛子女史

★平市三丁目エガワヤ店頭

化粧品 裁縫用具

エガワヤ

平市三丁目TEL576

営業種目 通運業 自動車業

磐城通運株式會社

取締役会長 鈴木条三郎

取締役社長 斉藤昌平

専務取締役 北郷徳助

本社 平市田町 電話三五四番四五八番

三和クイズ

みんなで考えましょう
〆切は六月三十日到着
発表は七月四日夕刊

問題第六号

○夜に人○りが○くなつてからあそぶのは○構だが○頭でバトミントンや○球をやるのは○だ○い○通取○りで○だくのお○りはさらにこの路○遊戯に○を○らせねばならぬのはご苦○である

解答規定

▽賞金は一回百円一名、但し正解なきときは次回に加算する
▽解答用紙はハガキ、「問題第○号」と書き、住所氏名明記、文字はすべて楷書でハツキリ書くこと、不明な文字あるときは正解としません
▽当てはめる文字はすべて当用漢字
▽正解は本社の原文と合致したものに限ります
▽正解多数の場合は抽選で一人に賞金を贈る。
▽発表は次週の今日（つまり月曜日発表のものは次週の月曜日に発表、金曜日の問題は次週の金曜日に発表）

苦労のタネは？

○…クイズばやりでヒゲが薄くなつたというウワサが飛んだ平市神谷の神谷市郎氏は毎日、会う人ごとに「心配していましたがそれほどでもありませんネ」と見舞れるので近ごろはクイズよりもヒゲの見舞客のことで頭をいためているという。それを聞いたある口の悪い青年「いつそのことヒゲをとつてしまえば苦労のタネがなくなるじアありませんか！」とは人の気も知らないで…。

わかりましたよ

○…雨にぬれながら常磐市役所に入つてきた白石消防団長が開口一番「いやはや全く今日は働くのによい天気だ」という。黙つてきいていた労賃土木課長「入つてくると直ぐ皮肉をいうんだから弱ります、まあ雨にぬれながら外にでてうんと働きますよ」なんて尻モジモジ。

ライター物語

○…内郷署のN巡査が「世にも不思議な物語がある」というので耳をたてたら「このライター下の机でアクビしていたから持つてきてやつたんだが所有者がなんともいつてこない」という。「黙つて持つてきたんだからあたりまえだよ」といつたら「いやいや、こりやいいライターだとことわつて持つてきたんだから何んとかゆつてくるのがほんとうだ」なんてシャーシャーしているんだが、心臓もここまで強くなると何にをか言わんやである。

魚菜市況

トマト三百円

青果 ▽ダイコン二〇▽ゴボウ二〇〇一二▽ダイコン二〇▽ゴボウ二〇〇一五〇▽ジヤガイモ七〇一三〇▽タマナ三〇一二〇▽サヤマメ一八〇一五〇▽ネギ（一把）一〇一二▽タマネギ四〇一三〇▽キウリ一三〇一五〇▽ナタマメ三〇〇一五〇▽ナス二五〇一一五〇▽トマト三〇〇。

エビ二五〇一二四〇円

魚 ▽カツオ三五〇一三二〇▽エビ二五〇一二四〇▽マツダイ二六〇

今晩のラジオ

◎NHK第一
六・〇〇＝シンフン▽日本民話
六・二五＝日本文化に尽した人々
六・四五＝民謡のしおり
七・一五＝録音ニュース
七・三〇＝即興劇場
八・〇〇＝落語
九・〇五＝ニュース解説
九・一五＝希望音楽会
一〇・一五＝ある日ある時
一〇・四〇＝風流歌草紙
◎ラジオ福島
六・〇五＝破馬天狗
六・四〇＝ばらきれ王子
六・五〇＝音楽の小箱
七・一五＝人情馬鹿物語
七・三〇＝演芸甘辛亭
八・〇〇＝素人物まねコンクール
八・三〇＝浪曲落語
八・五〇＝民謡クイズ
九・〇〇＝明色アベック歌合戦
九・三〇＝浪曲
九・四五＝キツコーツルアワー
一〇・〇五＝名作アルバム
一〇・三五＝夜の希望音楽会
一一・〇五＝時事解説
一一・二〇＝ラジオ演芸欄

いずみ石鹸 代理店 袋屋本店 TEL 516

この度四丁目関内薬局前に移転致しました。
倍旧の御引立を御願い致します。

丸萬家具店
冷蔵庫、洋服タンス、ベビータンス
其の他家具調度品各種
国鉄の店 電電公社の店 指定商の店
平市四丁目 電一八五六 工場 平市白銀町三

音樂の店 富野文化堂 平駅前

洋裁と生地 マルエ 平銀座街 電二六五

ラジオ 月賦 三幸 電気部 平市三丁目 TEL 506

内科 小児科 皮膚 レントゲン科
高木医院
磐城市定西五番 電話499

アイスクリーム
雪印
10円
20円
30円
アイスクリームの王様

販売店
平市阿部本商店 松カルマル商店 まるヽ商店 加地山商店 石沢屋商店 三常通本店 磐城高等女学校 新バン舗 梅月堂本店 水野屋菓子店 江浦ベーカリー 小松屋菓子店 金沢屋菓子店 斎藤亭木商店 マルサ越後屋商店
平市八幡小路 平市小田町 平市長橋町 平市紺屋町 平市古市町 平駅前 常磐四ツ倉町 平新町 磐城平名古屋町 平市一ツ松町 平市杉ガ丁目 平市銀座通 平市和通

夏の衛生の紙上相談
平市内有名医院案内

労災保険指定医
安田眼科医院
平市紺屋町（民劇前）電話一二二五番

小内外科科科
若松医院
平市大町二三 電話五〇五番

産婦人科科
斉藤医院
平市南町 電話九〇二番

木村眼科医院
院長 木村正道
平市南町郵便局裏 電話（平）三一六番

松村歯科医院
平市大町二〇 電話一〇五九

食品衛生強調旬間
自6月20日 至6月30日

平海産物商組合
平市四丁目八 電話一七三番

生 合名会社 生田目商店
平市四丁目 電話三〇三

漬物・佃煮・食料品一般 卸問屋 好沢屋商店
平市三丁目 電話五六八番

海産物 佃煮 菓子問屋 田口商店
平市一丁目 電話五二二番

善 海産物 食料品 罐詰 佃煮 久野食品店
平市三丁目 電一〇六八番

海産物加工品 罐詰 瓶詰 漬物 佃煮 キツコーショー醤油特約店 株式会社 仙台屋関商店
平市長橋町 電話五四八番

食料品問屋 株式会社 名荷屋商店
福島県平市紺屋町五四 電話（平）一〇六番